

Frente

vol.13

フレンテ フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

2003.6

情報誌リニューアル

フレンテみえ情報誌「Frente」をリニューアルしました。昨年度より1号増の

年4回発行でスリムにタイムリーな情報を発信していきたいと考えています。

ウェルカムセミナーって何？
ひとめでわかる7～9月のフレンテ
クローズアップ「市川房枝」
女性のチャレンジ支援策とは？

ピックアップ！！

～ウェルカムセミナー始めます～

『男女共同参画ってなに？』『フレンテみえってどんなところ？』

見て！ 聞いて！ 考えてみませんか！ 皆様のご来館をお待ちしております。

フレンテみえでは、県民の皆様にもっと「男女共同参画」を知っていただき、フレンテみえをご利用していただきたいと思っております。

男女共同参画についての学習では、ご利用の方の目的に合わせた内容をご提供させていただきます。また、施設見学では、男女共同参画に関する情報がいっぱいの情報コーナー等を見ていただきたいと思っております。

日時：平成15年6/25、7/30、8/27、9/24、
10/22、11/26、12/17

平成16年1/28、2/25

(10:00～12:00、13:00～15:00)

内容○男女共同参画についての学習（約1時間20分）
(利用者の目的に応じ、テーマ、ジャンル、学習形式を選択とします)

・日時、内容につきましてはご相談に応じますので、お気軽にお電話ください。

<テーマ>

「男女共同参画について基礎編」（基本的な内容です）

「男女共同参画について専門編」（より詳細な内容です）

<ジャンル>

「全般」「子育て」「職場」「地域」「相談」等

<学習形式>

「講義式」「参加型」

○フレンテみえの施設見学（約40分）

対象 5名～20名のグループ

(各種団体、企業、小・中・高等学校等教育機関等)

託児 あり 託児料1回500円

(対象年齢1歳6ヶ月～就学前)

申込方法 別紙申込書にご記入のうえ、返送してください。申込は先着順とします。

・この他に皆様のご希望による出前トークも実施しておりますのでご利用ください。

平成15年度男女共同参画フォーラムinみえ(仮称) 平成15年10月3日(金)～4日(土)開催決定！！

「フレンテみえ」も来年で10周年という節目を迎えます。今年度はイベントとして内閣府と共催でフォーラムを開催します。男女共同参画についていっそう考えを深める場となるよう県民の皆様と一緒にフォーラムをつくっていききたいと考えています。

今回のフォーラムは中部ブロックの開催県でもありますので、他県の皆様にも県内の団体の活発な活動をアピールする場としても活用していただきたいと思っております。ぜひご参加ください。

開催場所 三重県総合文化センター

内容と日程(案)

【10月3日(金)】

13:30～16:00 開会主催者あいさつ

男女共同参画推進本部報告

八代尚宏さん(社団法人日本経済研究センター理事長)基調講演

八代尚宏さんと竹信三恵子さん(新聞記者・ジャーナリスト)との対談

16:20～18:00 三重県内団体による

ワークショップ、活動展示

【10月4日(土)】

10:00～12:00 分科会

13:30～15:00 全体会を兼ねたシンポジウム、まとめ

情報コーナーリニューアルOpen！！『HOTニューススペース』増設！！



フレンテみえ情報コーナーでは、登録団体情報、男女共同参画関連図書、県内外の男女共同参画関連施設の行政資料・情報誌など揃えています。ぜひご利用ください。

利用時間：9:00～17:30

図書貸出：1人3冊まで 貸出期間2週間

情報検索のためのパソコンあります。

フレンテみえ7、8、9月主な事業予定

事業名	内 容	7月		8月	9月
情報誌「フレンテ」	この情報誌です。 年4回発行です。			次号発行	
プチフレンテ	フレンテみえ登録者への情報誌です。月1回発行です。	15日(火) 発行		15日(金) 発行	15日(金) 発行
ウェルカムセミナー	男女共同参画の学習と施設見学のプランです。	30日(水)		27日(水)	24日(水)
男性講座	男性のこれからの生き方を考えます。	26日(土)		23日(土)	27日(土)
企画・運営 サポーター講座	企画・運営のノウハウについて学びます。	19日(土)		9、23日(土)	6、20日(土)
地域の子育て リーダー養成講座	わがまちの子育てプランを考えます。※1	3日(木)	11、18日(金)	8、29日(金)	5日(金)
働きがいのある職場づくりスクール※2	わが社でのベストプラクティスを考えます。※2	公開講演		1日(金)	12日(金)
女性の性とからだを考える(夏コース)	からだほぐし、こころほぐしと産婦人科医による相談。	11日(金)		8日(金)	12日
わたしを語る場CR	夫・パートナーとの関係について話し合います。	13、27日(日)		17、24日(日)	

※1 三重県健康福祉部こども家庭チームとの共催事業です。(募集は市町村単位です。)

※2 三重県生活部勤労福祉チームとの共催事業です。(募集は事業所単位です。)

相談室だより

相談の多くは夫婦・家族・対人問題など、人間関係で悩んでいる方からです。相談者は、女性が大半ですが、家庭や職場や地域で自分の思っていることがうまく伝えられず悩んだり、我慢することでストレスを感じている人が多いように思われます。相談員は、相談者が自分に対する信頼感や尊重感を高め、自分を大切にさせていただけるようにお話を聴きます。相談者自身が答えを見つけられるように精神的なサポートや、必要な情報を提供しています。

また、相談の中からみえてくる問題を他の事業に反映させることに努めています。本年度は女性の自己尊重感を高めるための「自分と向きあう講座」を県内各地域で開催します。

相談の曜日・時間

曜日	日	月	火	水	木	金	土
電話相談	10:00~15:30		10:00~15:30				
面接相談(予約制)						10:00~15:30	
弁護士による法律相談(予約制)							第1・第3週 13:30~16:30
男性のための相談							第4週 10:00~12:00
産婦人科医による女性の性 とからだの相談(予約制)						第2週 13:00~14:00 (電話相談) 14:00~15:00 (グループ相談)	
三重県立看護大学助産師による相談					13:00~15:00		

「みえの男女2003」報告

去る2月28日～3月1日に平成14年度三重県男女共同参画フォーラムを開催しました。2日間にわたり県内外からのべ約2600人の参加がありました。

2002年8月より16名の実行委員さんが全力投球で企画・運営に取り組み「未来社会のデザインは男女共同参画です♪みんなちがってみんないい」という、一人ひとりの「個」が尊重される社会の実現に想いを込めたフォーラムとなりました。

【2月28日】

基調講演「少子高齢社会をどう生きる？」～お笑いジェンダー論～

講師に東京大学大学院助教授瀬地山角さんをお迎えし、身近な生活や政治からのジェンダー論について語っていただきました。「男女共同参画における男性側からのお話は新鮮で、素直に共感できました。」等多くの意見が寄せられました。



【3月1日】

シンポジウム「未来社会のデザインは男女共同参画社会です♪」

～あらゆる意志決定を男女共同参画で～

シンポジスト
 (財)横浜市女性協会顧問
 有馬真喜子さん
 とよなか男女共同参画
 推進センター館長
 三井マリ子さん
 内閣府男女共同参画局総務課長
 佐藤和寿さん
 住友電装株式会社社人事務部長
 辻久男さん



テーマに沿った国の施策、三重県企業の事例、北欧の事例、地域におけるNPOの重要性等についてシンポジストからご発言いただきました。会場からも活発なご意見・質問のやり取りがあり、会場との一体感が強く感じられるシンポジウムとなりました。

そのほか、地域の活動団体・グループからワークショップ・活動展示の出展や当日ボランティアスタッフの協力など県内の多くの皆さんに支えられた催しとなりました。このフォーラムでいただいた参加者からの提言をもとに今年度内閣府との共催フォーラムを開催しますのでよろしくご参加ください。

クローズアップ「市川房枝ってどんな人？」

5月28日(水)から6月8日(日)まで、男女共同参画強調月間オープニング事業「女性の政治参画と市川房枝」パネル展を、フレンテみえ1階エントランスで開催し、会期中345名の方に見ていただきました。

市川房枝(1893年～1981年)は女性の地位向上や政治浄化に尽力し、多大な功績を残した人物ですが、この世を去ってから20年余り経ち、「名前は聞いたことがあるけど、どんな人？」という人も多くなってきてしまったのではないのでしょうか。

市川房枝は愛知県に生まれ、小学校教師、名古屋新聞(現中日新聞)記者を経て上京、日本初の労働組合友愛会婦人部に勤務。1919年には平塚らいてう(雑誌「青鞥」の創刊者)らと新婦人協会設立します。

1921年渡米。1924年に帰国しILO(国際労働機関)東京支局に勤務、同年、久布白落実、金子しげり(三重県出身)らと婦人参政権獲得期成同盟を結成します。市川は同盟の中心となって対議会運動を行うとともに、市政浄化運動などで婦選運動の大衆化を図りました。その活動中には選挙立候補者に対する婦人参政権についての往復ハガキの質問状などもあり、その行動力、企画力に驚かされます。

その結果、婦人参政権獲得一步手前まで漕ぎつめますが、次第に日本は戦時体制に向かい、婦人参政権が実現したのは1945年の太平洋戦争終戦後でした。市川は戦後わずか10日で戦後対策婦人委員会を結成、同年11月には新日本婦人同盟を創立します。1953年参議院議員に初当選、以後24年半も在職し、売春禁止、理想選挙などを推進しました。

市川房枝など婦人運動家の多大な努力で実現した婦人参政権。大事に行使していきたいものです。



戦後東京の焦土を歩く市川房枝

視点 2003

今年度は「働く」をテーマに、様々な企業の取り組みを紹介します。

第1回「男女がいきいきと働いている事業所」三重県知事表彰受賞企業

これからの企業は、男性・女性という性別ではなく、「ヒト」として仕事の能力が発揮できているか、男性も女性も持てる力を十分に出し切れているかがポイントになります。「会社の人材」は「会社の財産」ということです。「男も女もいきいきと働いている事業所」というのは、その意味でのモデル事業所なのです。

三重名鉄タクシー株式会社

「女性は宝」をモットーに、
地域に愛されるタクシー会社をめざして



～会社概要～

事業内容 : 一般乗用旅客自動車運送業
本社所在地 : 松阪市末広町1-240-1
資本金 : 3,800万円
従業員数 : 199人
女性管理職数 : 係長19名中2名
課長10名中2名
部長3名中2名

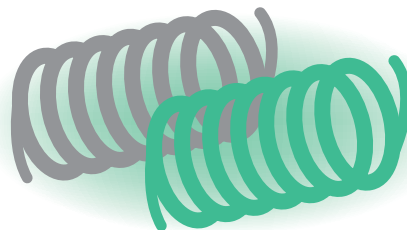
「女性は宝だ」。三重名鉄タクシーの代表取締役社長森本臣紀さんが開口一番言われた言葉です。その言葉を裏付けるように、男性の職場とされていたタクシードライバーにいち早く女性を採用し、女性が大活躍している企業です。3名いる部長相当職のうち2名が女性で、毎月の売上トップクラスに必ず女性のドライバー数名が名前を連ねています。

三重名鉄タクシーの特徴は、「採用に関してバリアフリーであること。社員にとって働きやすく、能力を生かす環境を整えていること」です。もちろん給与に男女差はなく、やる気のあるものにはやりがいのある職場です。女性が活躍する土壌には、森本社長のこの柔軟な発想があるようです。

「ドライバーは男性」という固定観念にとらわれない森本社長のもと、のびのびと仕事に従事している女性従業員の姿が印象的でした。今後同社では、4割を女性ドライバーとし、禁煙タクシーや全車オートマチック車輛を導入して女性採用に力をいれたいということです。

株式会社宮川スプリング製作所

やりがいを持って女性が働き続ける会社



～会社概要～

事業内容 : 精密小物バネ製造・プレス加工・
錠前組立等
本社所在地 : 多気郡大台町弥起井218-1
資本金 : 1,000万円
従業員数 : 84人
女性管理職数 : 係長5名中2名
課長5名中3名
部長5名中1名

同社の特徴は、なんといっても女性があらゆる場面で活躍していることです。女性が6割を占め、女性管理職は部長、課長、係長とすべての役職で活躍しています。西村社長は「うちの会社は技術面は男性がフォローし、作業全体は女性が担当。男女のコミュニケーションをうまく取りながら、やりがいをもって働いてもらっている」とおっしゃいます。意識して女性を登用してきたわけではなく、真面目に仕事に取り組む女性を性別にとらわれず評価してきた結果です。

企業内の3推進チームのうち1チームのリーダーを女性がつとめ、他チームも参画し、活躍しています。また、一旦辞めた社員を再雇用したり、パートから管理職採用をするなど、会社は個々の事情を理解しながら雇用しています。

女性たちの勤続年数は長いとのこと。女性たちが働き続けやすい職場環境を整えていることが、勤続年数の長さにつながっているようです。社長は、女性たちが働きやすい環境をつくるためには、地域や家族そして本人の意識改革が大切だとおっしゃいます。勤続年数の長い社員に対しては表彰を行っています。これらは、「女性たちにやりがいを持って、長く仕事を続けてほしい」という社長の願いからきています。

(三重県生活部勤労福祉チーム)

地域から世界から

このコーナーでは「地域から、世界の情報まで」幅広く、その時期に注目したい男女共同参画の話題を掲載します。今回は4月に行われた統一地方選の実情について取り上げます。

女性の政治参画

4月の統一地方選を振り返って

1945年12月に日本で女性の参政権が実現してから、60年近く経とうとしています。

21世紀が真に男女共同参画社会となるためには、女性と男性が平等に政治に参画していくことが重要です。

今回の三重県の統一地方選における県議会議員及び市町村議会議員の当選者のうち、女性議員をみると

県議会議員

改選前の1議席（1.9%）から、2議席（3.9%）となりました。

市町村議会議員

11市で実施された選挙では、改選前の27議席（9.4%）から5議席増の32議席（11.4%）、24町村で実施された選挙では、改選前の22議席（6.2%）から1議席増の23議席（6.6%）となりました。

その結果、今回、改選されなかった市町村（一部は平成14年度に実施）も含めて、昨年3月末時点の内閣府調査に比べると、市全体では31議席（9.5%）から7議席増の38議席（11.9%）、町村全体では55議席（6.7%）から3議席増の58議席（7.2%）、県全体では86議席（7.5%）から10議席増の96議席（8.5%）となりました。

女性議員比率が20%以上の市町村は、3町から表のとおり1市3町となり、特に東員町のように3人に1人が女性議員、名張市や御浜町、長島町のように4人に1人が女性議員というところもあります。

このように、今回の統一地方選挙では全国の傾向と同様、女性が躍進しましたが、県議会の比率は全国中位以下、また町村議会でも多くの町村で空白となっていますので、なお一層、女性の政治参画が望まれるところです。

女性議員比率ベスト3（2003.4.30現在）市

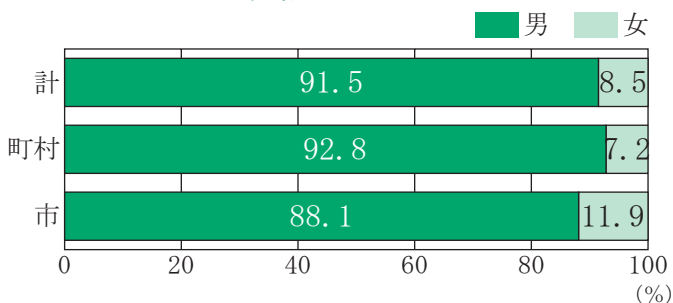
市名	定数	女性議員	比率
名張市	20	5	25.0
桑名市	28	5	17.9
久居市	20	3	15.0
上野市	20	3	15.0
13市計	318	38	11.9

町村

町村名	定数	女性議員	比率
東員町	18	6	33.3
御浜町	15	4	26.7
長島町	16	4	25.0
56町村計	805	58	7.2

県計	1123	96	8.5
----	------	----	-----

議員男女比率



特集

「女性のチャレンジ支援策って？ご存知ですか？」

ここでは、フレンテみえが注目している内容についてシリーズで掲載していくコーナーです。今年度は、内閣府男女共同参画局の「女性のチャレンジ支援策」に焦点を当てて特集します。

第1回 女性のチャレンジ支援策の概要

男女共同参画会議では、小泉内閣総理大臣の指示により、女性はその個性と能力を発揮することにより、社会に活力をもたらすため、暮らしの構造改革の一環として、昨年「女性のチャレンジ支援策」について、約1年間調査審議を行ってきました。検討の結果は、本年4月の第10回男女共同参画会議において、内閣総理大臣および関係各大臣に対する意見として決定されました。

提言においては、女性のチャレンジ支援策の必要性、雇用、起業、NPO、農業、研究、行政等、地域、国際分野など様々な分野における支援策および各分野に共通する支援策が報告されています。

女性のチャレンジ支援策の必要性として、①構造改革に女性のチャレンジは不可欠、②世界の中でも低い日本女性の活躍状況、③組織活性化の鍵は女性のチャレンジの3点が挙げられています。

また、どのようなチャレンジかは、①政策・方針決定過程に参画し、活躍することを目指す「上」への（垂直型）チャレンジ②起業家、研究者・技術者等、従来女性が少なかった分野に新たな活躍の場を広げる「横」への（水平型）チャレンジ③子育てや介護等でいったん仕事を中断した女性の再チャレンジが挙げられています。

各分野に共通する支援策として、本年4月に2020年（平成32年）までに管理的職業に従事する女性の割合を30%以上にするため、「ポジティブ・アクションの推進」や「身近なチャレンジ支援」として、チャレンジしたい女性が必要とする支援情報を関係機関の垣根を越えて、「いつでも、

どこでも、だれでも」ほしいときに容易に入手できる「チャレンジ・ネットワーク」の実現を目指すことなどが柱となっています。

内閣府では、ネットワークの在り方について検討を行うため、産業界、大学、NPO、女性センター・男女共同参画センター等の有識者や関係府省（内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省）から構成される「チャレンジ支援ネットワーク検討会」を開催し、本年度中を目処にチャレンジ支援のためのネットワークを構築する予定です。このネットワークでは、再チャレンジしたい女性、キャリアアップしたい女性、起業したい女性が、必要な情報へのアクセスを効率的、かつ、容易にするため、国レベルの関連情報のワンストップサービス化、ネットワーク化を促進することを目指します。

また、本年度は国民に身近なチャレンジのモデル等を分かりやすく提示し、さまざまな分野への女性のチャレンジを積極的に支援するため、地方公共団体等と協力したイベントなどを含む「チャレンジ・キャンペーン2003」を実施することとしています。さらに、女性の参画を拡大していくため、雇用以外の分野も含めたポジティブ・アクションの具体的措置の導入について検討するため、実行性のある措置の具体化について総合的に調査研究を行い、平成16年度を目処に取りまとめることとしています。

詳細については、内閣府男女共同参画局ホームページ (<http://www.gender.go.jp>) をご覧下さい。

(内閣府男女共同参画局推進担当専門職 河崎由実)

暮らしの構造改革

女性のチャレンジ支援策 (全体図)

女性のチャレンジは、男性の元気、社会の活気

● チャレンジ支援策の必要性・緊急性

構造改革にチャレンジは不可欠

世界の中でも低い活躍状況

組織活性化の鍵

● 基本的な考え方

男女共同参画社会の実現

3つのチャレンジ

・「上」へのチャレンジ
・「横」へのチャレンジ・「再」チャレンジ

両立支援

・ 様々な分野における支援策の方向

雇用

意欲と能力がある女性
が活躍できる職場づくり

起業

女性起業家
支援

NPO

活動しやすい
環境を

農業

目標設定・意識啓発
経営能力向上支援

研究

目標設定
能力評価徹底

各種団体

目標設定
取組策定

地域

まちづくり
参加支援

行政

積極的な
登用・採用

国際

国際機関・国際
交流での活躍

・ 全体の方向

ポジティブ・アクションの推進

★ポジティブ・アクションの検討
★ポジティブ・アクションの推奨

女性管理職
割合を少なくとも

2020年までに
30%

～いつでも、どこでも、誰でもチャレンジできる～

身近なチャレンジ支援

★チャレンジネットワークの形成
★モデルを分かりやすく提示

ポジティブ・アクション
研究会 (H15～16年)

男女がともに個性と能力を十分に発揮できる社会へ

チャレンジキャンペーン 2003
チャレンジ応援隊 (H15年)
チャレンジ大賞創設を検討

社会経済の活性化へ

一人一人が豊かさを感じられる社会へ

※ポジティブ・アクション

社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差改善のため必要な範囲内において、男女いずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供すること

男女共同参画会議 (平成15年4月8日)
「女性のチャレンジ支援策について」より

INFORMATION

インフォメーション

地域イベント情報

このコーナーでは地域のイベント情報を掲載します。次回は8月発行予定です。どしどし情報をお寄せください。

男女共同参画週間事業

「おもいを形に風をちからに～まちづくりは男女の手で～」
●内容 講演や座談会を通して、まちづくりを男女の手で進めていく方法を探ります。

●講師 講演会：西沢依里子（地域振興コミュニケーター）
 座談会：橋川史宏（紀南振興プロデューサー）

●日時 平成15年6月28日（土）13:30～16:00

●場所 熊野市保健福祉センター

●問合せ先 熊野市市長公室企画係 担当：山田
 TEL：0597-89-4111（内線313）

ドメスティック・バイオレンスに関するセミナー

●内容 配偶者や恋人などの身近なひとからの暴力（ドメスティック・バイオレンス）をテーマにしたセミナーを開催します。

●講師 ウィメンズカウンセリング 京都 井上摩耶子

●日時 平成15年6月28日（土）13:30～15:30

●場所 鈴鹿市男女共同参画センター
 ジェフリーすずかホール

●定員 100名（当日先着順）

●問合せ先 三重県生活部男女共同参画チーム
 TEL：059-224-2225 FAX：059-224-3069

男女共同参画講演会

『聴いてたのしく笑ってうれしく』

●テーマ 「みんな 主人公」

●講師 東海ラジオアナウンサー 蟹江篤子

●日時 平成15年6月29日（日）13:30～15:30

●場所 菰野町役場 4階大会議室

●問合せ先 菰野町役場秘書広報課男女共同参画係
 TEL：0593-91-1105

れいんぼうフォーラム2003 in いせ

●テーマ 「あきらめない人生 夢をもとめて！」

●内容 「学びつづけて輝ける人生」と題した講演会とパネルディスカッション等

●講師 池田理代子

●日時 平成15年7月19日（土）13:00～15:30

●場所 伊勢市生涯学習センター「いせトピア」

●問合せ先 伊勢市男女共同参画課
 TEL：0596-21-5513

つしんてみえからのお知らせ Book & Video

情報コーナーにて貸し出ししています。



『お笑いジェンダー論』

女と男の「社会的性差」をめぐるお話の数々。笑って笑ってその先はしっかり考えよう。

著者 瀬地山 角

出版社 勁草書房

出版年 2001年

ひとみえの男女2003
 基調講演 著書



『映画と私』 羽田 澄子

1957年、31歳のときの初演出演作品『村の婦人学級』から、『薄墨の桜』『早池峰の賦』などの代表作をへて、最新作『平塚らいてうの生涯』まで、45年におよぶ映画人生を振り返る。

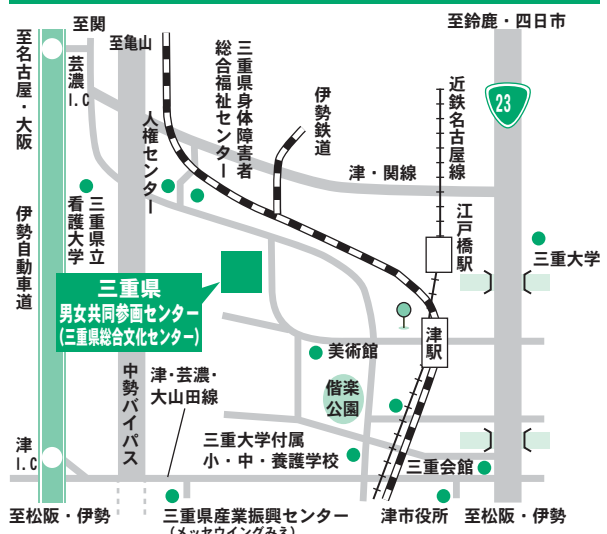
著者 羽田 澄子

出版社 晶文社

出版年 2002年

三重映画
 フェスティバル
 2003
 関連図書

三重県男女共同参画センターまでのご案内



休館日 毎週月曜日
 年末年始
 (12月29日から
 1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西ロー番のりばから約5分
 ■徒歩/津駅西口から約25分
 ■自家用車/伊勢自動車道インターから約15分津インターから約10分
 ※駐車場は1400台(無料)、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

三重県総合文化センター

三重県男女共同参画センター フレンテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

TEL：059-233-1130 FAX：059-233-1135

URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/woman/>

e-mail: frente@center-mie.or.jp